

被害防止計画目標評価報告書

1. 対象地域及び実施期間

対象地域	美祢市
実施期間	令和元年度～令和3年度

2. 被害防止計画目標の達成状況

被害防止計画目標	基準年（年度）の実績値（A）	目標値（B）	目標年（年度）の実績値（C）	達成率（%） A - C / A	備考
イノシシ	12.95ha 2,250kg 7,226千円	11.65ha 2,025kg 6,503千円	10.47ha 1,903kg 10,820千円	190 154 -497	
サル	2.20ha 135kg 2,915千円	1.98ha 122kg 2,623千円	1.65ha 108kg 2,430千円	250 207 166	
シカ	7.41ha 7,527千円	6.66ha 6,774千円	3.98ha 7,473千円	457 7	
アライグマ	0.00ha 0千円	0.00ha 0千円	0.01ha 63千円	- -	
カラス	0.10ha 408千円	0.09ha 367千円	0.08ha 507千円	200 -241	
合計	22.66ha 2,385kg 18,076千円	20.38ha 2,147kg 16,267千円	16.19ha 2,011kg 21,293千円	283 157 -177	

3. 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業内容	事業量	管理主体	供用開始日	事業効果
(令和元年度) 有害捕獲	サル用大型囲いわな 1基	美祢市有害鳥獣被害防止対策協議会	R1.8～	侵入防止柵設置による農林産物の被害軽減及び捕獲効率の向上 捕獲檻の整備及び捕獲圧の維持による捕獲数の向上
鳥獣被害防止施設	侵入防止柵 8,584m		R2.3～	
緊急捕獲活動	イノシシ 639頭			
	シカ 659頭			
	サル 89頭			
	タヌキ 6頭			
	アライグマ 8頭			
	カラス 1羽			

事業内容	事業量	管理主体	供用開始日	事業効果
(令和2年度) 鳥獣被害防止施設 緊急捕獲活動	侵入防止柵 11,434m イノシシ 1,036頭 シカ 1,004頭 サル 93頭 タヌキ 10頭 アライグマ 26頭 ヌートリア 45頭 カラス 4羽	美祢市有害鳥獣被害防止対策協議会	R3.3～	侵入防止柵設置による農林産物の被害軽減及び捕獲効率の向上 捕獲圧の維持による捕獲数の向上
(令和3年度) 有害捕獲 重点捕獲対策強化 鳥獣被害防止施設 緊急捕獲活動 【鳥獣被害防止対策促進支援事業】 鳥獣被害防止施設	サル用大型囲いわな 1基 箱わな 2基 侵入防止柵 4,753m イノシシ 1,172頭 シカ 1,153頭 サル 43頭 タヌキ 4頭 アライグマ 6頭 ヌートリア 26頭 カラス 2羽 侵入防止柵 6,838m	美祢市有害鳥獣被害防止対策協議会	R3.8～ R4.2～ R4.3～ R4.3～	侵入防止柵設置による農林産物の被害軽減及び捕獲効率の向上 捕獲檻の整備及び捕獲圧の維持による捕獲数の向上 侵入防止柵設置による農林産物の被害軽減、捕獲効率の向上及び生産コストの低減

4. 総合評価

侵入防止柵を順次整備し、被害の軽減効果は出ているが、未整備の地区に被害が集中している。捕獲数は向上しているものの、農家の減少、耕作放棄地の増加及び空家の増加により、鳥獣が出没しやすくなっており、反収の高い梨や栗等の被害も増加しているため、被害額の軽減目標は未達成となっている。

イノシシについては、被害額の過半数を占めており、捕獲計画数の目標が未達成であることから、捕獲圧を高めていく必要がある。

シカについては、生息域が拡大傾向にあるため、イノシシ用の侵入防止柵が設置されている地区で柵の嵩上げ等の対策を講じていく必要がある。

今後も、侵入防止柵を整備するとともに、捕獲の担い手の確保等により捕獲圧を高め、被害の軽減を図る。

5. 第三者の意見

イノシシは、防護柵により被害面積と量が減少したものの、被害額が目標未達であるため、引き続き捕獲圧を強めて、生息密度低下を図る必要がある。また、アライグマ、カラスを含めて、果樹園の被害状況を把握して、防護・捕獲・環境対策を進めていく必要がある。

シカについても防護柵の効果が認められるので、生息域の拡大方向に留意して、優先順位を決めた上での対応が望まれる。

サルについては、捕獲頭数が減少傾向にある。捕獲を継続し、地域ぐるみの追い払いを実施することで、被害額の減少に努めてほしい。

山口県農林総合技術センター 経営高度化研究室